



2019年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年7月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

四半期報告書提出予定日 2018年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第1四半期の業績(2018年3月1日～2018年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	2,162	3.6	113	4.1	118	8.0	81	11.4
2018年2月期第1四半期	2,242	3.9	109	1.6	109	6.4	72	5.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	86.06	
2018年2月期第1四半期	77.22	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第1四半期	4,711	1,912	40.6
2018年2月期	4,677	1,914	40.9

(参考) 自己資本 2019年2月期第1四半期 1,912百万円 2018年2月期 1,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期		0.00		90.00	90.00
2019年2月期					
2019年2月期(予想)		0.00		90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の業績予想(2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,431	0.5	174	1.7	169	3.7	108	5.7	115.09
通期	8,918	1.2	410	13.9	401	11.7	227	79.7	240.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年2月期1Q	953,600 株	2018年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2019年2月期1Q	9,222 株	2018年2月期	9,146 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年2月期1Q	944,434 株	2018年2月期1Q	944,526 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、企業収益が堅調に推移するとともに雇用環境の改善を背景とする個人消費の持ち直しの動きなどにより、緩やかな回復基調が続きつつあるものの、米国をはじめとする保護貿易主義の台頭により、海外経済の不確実性の高まりが懸念されるなど、先行き不透明な状況は依然続いております。

こうした状況のもとで、当社におきましては、人材の育成と既存店のさらなる強化、さらには内部体制の充実に努めてまいりました。

当第1四半期累計期間は、4月に愛媛県今治市が所有する今治市鈍川せせらぎ交流館（愛媛県）および今治市玉川龍岡活性化センター（愛媛県）について指定管理者としての指定を受け、運営を開始しました。また、5月に店舗賃貸借契約期間の満了によりブックオフ松山南店（愛媛県）を閉店しました。

この結果、当社の店舗数はリユース事業86店舗、フードサービス事業33店舗、その他2店舗、合計121店舗となりました。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,162,410千円（対前年同四半期比3.6%減）となり減収になりましたが、販売管理費が64,587千円減少および特別損失が10,797千円減少するなどしたことで、営業利益113,939千円（同4.1%増）、経常利益118,158千円（同8.0%増）、四半期純利益81,281千円（同11.4%増）となり増益という結果になりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

（リユース事業）

当第1四半期累計期間におきましては、ハードオフ本部のECプラットフォーム「ネットモール」を活用したネット販売の強化にくわえ、出張買取などのリアル店舗ならではのサービスへの取り組みを深めたほか、お客様目線の売場づくりを進め、売上高の増加に努めてまいりました。

この結果、売上高は1,498,852千円（対前年同四半期比2.4%減）と前事業年度に2店舗を閉店した影響で減収にはなりましたが、セグメント利益（営業利益）177,058千円（同14.1%増）となりました。

（フードサービス事業）

当第1四半期累計期間におきましては、フランチャイジー事業においては本部主導の販売促進活動の理解と徹底、オリジナルブランド事業においては食の安心・安全とおいしさへの取り組みを深めながら新商品の投入や既存商品の改良等を行ってまいりました。

この結果、売上高は644,128千円（対前年同四半期比9.0%減）、セグメント利益（営業利益）20,312千円（同11.8%減）となりました。

（その他）

当第1四半期累計期間におきましては、4月より愛媛県今治市が所有する2施設について指定管理者としての指定を受け、運営を開始しました。運営の引継ぎにともなう初期費用等の発生により、売上高19,429千円、セグメント損失（営業損失）11千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて90,608千円増加し、2,047,589千円となりました。現金及び預金が10,273千円増加、売掛金が34,791千円増加、商品が57,142千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は、前事業年度末に比べて55,900千円減少し、2,664,317千円となりました。有形固定資産が36,534千円減少、投資その他の資産が17,445千円減少したことが主な要因であります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて34,707千円増加し、4,711,906千円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて153,219千円減少し、944,852千円となりました。買掛金が24,425千円増加、1年内返済予定の長期借入金が43,274千円増加しましたが、1年内償還予定の社債が180,000千円減少、未払法人税等が50,109千円減少したことが主な要因であります。

固定負債は、前事業年度末に比べて189,836千円増加し、1,854,073千円となりました。長期借入金が206,547千円増加したことが主な要因であります。

この結果、負債は、前事業年度末に比べて36,616千円増加し、2,798,925千円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて1,909千円減少し、1,912,980千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年4月13日に公表しました「平成30年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2018年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	725,762	736,036
売掛金	101,242	136,033
商品	965,144	1,022,287
貯蔵品	6,271	5,840
その他	159,885	149,076
貸倒引当金	△1,325	△1,684
流動資産合計	1,956,981	2,047,589
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,024,511	1,000,358
その他(純額)	361,208	348,826
有形固定資産合計	1,385,719	1,349,184
無形固定資産		
	34,829	32,909
投資その他の資産		
差入保証金	529,659	528,441
その他	776,231	759,974
貸倒引当金	△6,223	△6,194
投資その他の資産合計	1,299,668	1,282,222
固定資産合計	2,720,217	2,664,317
資産合計	4,677,198	4,711,906
負債の部		
流動負債		
買掛金	101,069	125,495
1年内返済予定の長期借入金	355,738	399,012
1年内償還予定の社債	180,000	-
未払法人税等	93,771	43,661
資産除去債務	4,755	4,755
その他	362,737	371,927
流動負債合計	1,098,072	944,852
固定負債		
長期借入金	957,972	1,164,519
退職給付引当金	7,208	7,693
役員退職慰労引当金	81,499	84,556
資産除去債務	432,369	433,691
その他	185,187	163,613
固定負債合計	1,664,236	1,854,073
負債合計	2,762,308	2,798,925

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2018年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,303,529	1,299,810
自己株式	△18,075	△18,268
株主資本合計	1,896,470	1,892,557
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,419	20,423
評価・換算差額等合計	18,419	20,423
純資産合計	1,914,889	1,912,980
負債純資産合計	4,677,198	4,711,906

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)
売上高	2,242,908	2,162,410
売上原価	774,706	754,344
売上総利益	1,468,201	1,408,065
販売費及び一般管理費	1,358,713	1,294,125
営業利益	109,487	113,939
営業外収益		
受取利息	223	210
受取配当金	131	195
不動産賃貸料	3,726	15,726
受取手数料	2,202	2,041
協賛金収入	2,185	592
その他	1,744	2,974
営業外収益合計	10,213	21,741
営業外費用		
支払利息	3,417	2,630
社債利息	604	154
不動産賃貸原価	6,047	14,685
その他	200	52
営業外費用合計	10,270	17,522
経常利益	109,431	118,158
特別損失		
固定資産除却損	10,797	-
特別損失合計	10,797	-
税引前四半期純利益	98,633	118,158
法人税、住民税及び事業税	28,980	32,576
法人税等調整額	△3,286	4,300
法人税等合計	25,693	36,876
四半期純利益	72,939	81,281

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,534,953	707,954	2,242,908	—	2,242,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,534,953	707,954	2,242,908	—	2,242,908
セグメント利益	155,229	23,018	178,248	△68,760	109,487

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	リユース 事業	フードサービス 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,498,852	644,128	19,429	2,162,410	—	2,162,410
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,498,852	644,128	19,429	2,162,410	—	2,162,410
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	177,058	20,312	△11	197,359	△83,420	113,939

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、愛媛県今治市が所有する2施設について指定管理者の指定を受け、運営を開始したことに伴い、報告セグメントに「その他」を追加しております。